

医科研究会 ※日医生涯教育制度認定講座(申請中)

高齢者の肺炎を知る

～成人肺炎診療ガイドライン(2017)を踏まえて～



講師 **藤田 次郎** 先生
ふじた じろう
 (琉球大学医学部附属病院院長)

■ 講師略歴

- 昭和56年 3月 岡山大学医学部卒業
- 昭和56年 4月 国家公務員共済組合連合会虎の門病院内科レジデント
- 昭和58年 6月 国立がんセンター病院内科レジデント
- 昭和60年11月 米国ネブラスカ医科大学呼吸器内科学留学
- 昭和62年12月 香川医科大学医学部附属病院第一内科助手
- 平成 5年10月 香川医科大学医学部第一内科学助手
- 平成13年 2月 香川医科大学附属病院第一内科講師
- 平成15年10月 香川大学医学部附属病院第一内科講師
- 平成17年 5月 琉球大学医学部感染病態制御学講座(第一内科)教授
- 平成19年 7月 琉球大学医学部副学部長(兼任)
- 平成22年 4月 琉球大学大学院 感染症・呼吸器・消化器内科学(第一内科)教授
- 平成27年 4月 琉球大学医学部附属病院 病院長(現在二期目)

■ 講師からの一言

平成23年に日本人の死因の第三位の位置を肺炎が占めた。人口の高齢化に伴うものである。2017年に公表された「成人肺炎診療ガイドライン2017」では、肺炎を、「市中肺炎(CAP)」と「院内肺炎(HAP)+医療・介護関連肺炎(NHCAP)」に分類している。また NHCAP は HAP の治療に際し、個人の意思や QOL を考慮した治療・ケアに配慮し、いわゆるターミナル肺炎に対して予後改善の不透明さや耐性菌の出現を考慮して、「抗菌薬治療をしない」選択肢を導入している。

「成人肺炎診療ガイドライン2017」の大きな特色として、25の clinical questions(CQ)が準備され、これらのCQの中で強く推奨されている項目は、CAP 診断における重症度評価(01)、重症 CAP 患者の原因菌診断での血液培養(04)、CAP 治療における注射用から内服抗菌薬への切り替え(11)、高齢者の肺炎予防での肺炎球菌ワクチン接種(22)、高齢者の肺炎予防でのインフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンの併用接種(23)、および成人のインフルエンザ関連肺炎予防での抗インフルエンザ薬投与(24)の6項目である。

高齢者の肺炎の機序は、加齢に伴う脳血管障害に伴う誤嚥によるものが多いと考え、口腔内常在菌、および嫌気性菌を考慮に入れつつ、また臓器機能の障害を最小限にするため、CAP に準じ、単剤によるマイルドな治療を選択すべきである。

日時 11月30日(木) 19:30~

会場 アバンセ 第3研修室 佐賀市天神3丁目2-11
 TEL0952-26-0011

*参加対象/ 医師、スタッフ ※定員になり次第締め切ります。

参加費
無料

H.P. **主催** 佐賀県保険医協会 ☎(0952)29-1933 FAX 23-5218 ✉hoken-i@star.saganet.ne.jp

■ FAX参加申込書 2017.11.30(木) 医療機関名

FAX (0952) 23-5218

医科研究会 高齢者の肺炎を知る

参加人数	医師	スタッフ
	名	名

御氏名

御住所

TEL() -

※定員になり次第締め切ります。